

平成22年4月1日

平成22年度定期採用者入庫式について

横浜信用金庫（横浜市中区尾上町2-16-1 理事長 斎藤 寿臣）では、本日午前10時より、平成22年度定期採用者の入庫式を行いました。今年度は総合職57名、一般職42名、合計99名が入庫し60部店に配属されました。入庫式では、斎藤理事長より以下の訓示がありました。

<理事長訓示の要旨>

本日から横浜信用金庫の一員となられる皆様を心から歓迎します。

日本経済の回復の歩みはまだはっきりとせず、企業の設備投資の意欲はなかなか盛り上がりません。皆様も昨年の就職活動で実感されたように、企業の採用に関する姿勢も厳しいものがありました。皆様がこのように激しい就職戦線を勝ち抜いて当金庫の一員となられたことに敬意を表します。

皆様はこれから金融機関の職員としての道を歩むこととなります。金融機関の一番の特徴は信用が大事であるということです。当金庫に預金をされる方は、生命の次に大事なお金が約束した期限に利息がついて戻ってくることを信用して預けているわけです。当金庫に対する信用は、職員ひとりひとりの信用の積み重ねです。約束した事柄や時間を守る、健全な生活を送る、真面目な執務態度や正確な事務処理、きちんとした服装・身だしなみに心がけていただきたいと思います。信用を築きあげるには長い年月がかかりますが、信用を失うのはほんの一瞬です。皆様も当金庫の信用を維持し、さらに積み上げていくよう努力してください。

第二は自分の能力の向上、つまり研修や勉強の必要性についてです。仕事をしていくためには常に自己開発のための努力が必要です。金融機関の仕事は最近ますます範囲が広くなり、預金、貸出に限らず金融商品全般にまで広がっています。当金庫では段階に応じていろいろの研修プログラムがありますから積極的に参加してください。また、新聞の経済欄に毎日必ず目を通す習慣をつけてください。お客様とのコミュニケーションの面でも大事なことです。

第三はこころと身体の健康についてです。心配なことや悩みごとをひとりで抱え込まず、職場の上司や先輩に遠慮なく相談してください。勿論節度のある生活をするのが健康の維持のためにも大事なことは言うまでもありません。

以上信用の確保の大事さ、自己能力向上の必要性、こころと身体の健康の三点についてお話ししました。

最近金融機関については、お客様からの資金の相談に良く対応もせず門前払いしたり、お金を借りて返済に困っているのに延長に応じないということが問題になり、このようなお客様に対してできるだけ金融の円滑化を図りなさいと言われていています。当金庫は常日頃からお客様の役に立ち、またお客様の相談に親切に対応することを心がけてきました。一日も早く職場にとけ込んで、お客様から信頼される横浜信用金庫の職員となることをお願いします。

* 定期採用者内訳

- ・ 総合職 57名 (大卒：57名)
- ・ 一般職 42名 (大卒：36名 短大卒：6名)
- 合計99名 男性：37名 女性：62名

たしかな明日のお手伝い



神奈川・東京に60店舗